

【小学校第5学年の実践】

1 主題名

支え合いや助け合いに感謝して【B 感謝】

2 教材

人々に愛された豪商 本間 泰蔵（北海道版道徳教材（小学校高学年用））

3 主題設定の理由【指導観】

(1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

感謝とは、人々に支えられ助けられて自分が存在するという認識に立つとき、育まれるものである。このことから、身近な人々から見えないところで日々の生活を支えてくれる人々まで、成長とともに、尊敬と感謝の念が広がっていくよう指導することが大切である。自分たちの生活が、多くの人々に支えられ助けられて成り立っていくことに気付き、自分も人々や公共のために役立つとする心情や態度につながるよう指導することが大切である。

第5学年の指導に当たっては、過去から、人々が何を願い、何を残し伝えてきたのか、それは自分の生活とどう関わり、支えられているのかについて多面的・多角的に考えさせ、支え合い助け合おうとする人々の善意に気付き、感謝の気持ちをもって、それに応えようとする実践意欲と態度を育てていきたい。

(2) 児童の実態【児童観】

支え合い助け合おうとする人々の善意に気付き、感謝の気持ちをもってそれに応えようとする態度を育てるために、道徳科以外では、次のような指導を行っている。

①社会科「国土の自然とともに生きる」

日々の生活が多くの人の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする実践意欲や態度を育てるために、国土の自然環境と国民生活との関連や環境の保全に従事している人々の様々な工夫や努力について理解させるとともに、環境保全について自分たちでできることなどを考えさせる指導を行っている。学習を通して、児童は生活環境を守る人々の思いに気付くとともに、社会の一員として自らの生活を振り返り、環境にやさしい行動について考えるようになった。今後は、地域で環境の保全に従事してきた方々の活動に着目させ、その方々が何を願い、何を残してきたのか、そしてそのことが自分の日常生活とどのように関わりがあるのかに気付かせるとともに、自分自身が地域の環境保全にどのように関わるとよいかについて考え、実践できるようにさせたい。

②帰りの会「今日のキラキラさん」

支え合い助け合おうとする人々の善意に気付き、それに応えることができるようにするとともに、周囲の人々に対する尊敬の念を育むため、帰りの会において児童が一日の生活を振り返り、他の人にやさしく接したり、みんなのために行動したりした級友に対して感謝の気持ちを伝えさせる指導を行っている。今後は、学校行事等の様々な活動における他者の優れた行動に着目させるとともに、人々の善意に答えて自分は何をすべきかについて考え、実践できるようにさせたい。

(3) 教材について【教材観】

自分たちの生活が、多くの人に支えられ助けられて成り立っていることに感謝し、それに応えようとする実践意欲と態度を育てるために、自分を支えてくれた人々の思いに応えようとした本間泰蔵の思いや行動について話し合い、多面的・多角的に考えることを通して、価値理解・人間理解・他者理解を深めさせる。そのために、一つめの発問では、本間泰蔵に反物を譲った呉服屋の主人の行動について考え、感謝についての価値理解を深めさせる。

また、中心的な発問では、今の自分があることに感謝し、それに応えようとした本間泰蔵の思いや行動について考えたことを話し合い、人間理解、他者理解を深めることができるようにする。

4 ねらい

本間泰造の生き方に触れることを通して、日々の生活が多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝の気持ちを持ち、それに応えようとする実践意欲と態度を育てる。

5 学習指導過程

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・子どもの反応	・指導上の留意点 ■評価	「考え、議論する道徳」 に向けた工夫
導 入	● これまでの生活における周りの人との関わりについて振り返る。 ○ これまで学校や家などで、支え合ったり、助け合ったりしてきたことはありませんか。 ・係活動の時、友達が手伝ってくれた。 ・掃除など、家族の手伝いをしている。	・ねらいとする道徳的価値への方向付けとして、支え合い助け合ってきた人について想起する場を設ける。	【工夫①】 ・支え合ったり、助け合ったりすることについての問題意識をもたせるために、自分の生活を支えてくれる人々の存在やその思いについて振り返らせる。
展 開	● 教材「人々に愛された豪商」を読み、話し合う。 ○ 呉服店の主人が、店じまいの際に商品を泰蔵に安く譲ったのは、どんな気持ちからでしょうか。 ・泰蔵の才能を伸ばしてやりたいと思った。 ・泰蔵の心構えや仕事ぶりに感心していた。 ・自分もこれまでいろんな人に支えられて商売ができたから、今度は支えてあげたい。 ○ 大火事で商売道具を全て失ったとき、泰蔵はどんなことを思ったのだろうか。 ・これからどうしようか…。 ・ここまで成功できたのに…。 ・自分を支えてくれた人々のために、もう一度やりなおそう。 ◎ 増毛の人々のために尽くす泰蔵について、どう思いますか。 ・増毛の人のことを考えて行動できる泰蔵さんはすごいと思った。 ・増毛の人々から受けた恩を忘れずに町のために努力しているところがカッコいい。 ・国稀は、町の発展につくした泰蔵さんのお酒だから、今も愛されているのだと思う。	・本間泰蔵、反物、国稀酒造の写真を活用する。 ・本間泰蔵に反物を譲った呉服屋の主人に共感させることを通して、主人も泰蔵を支えてきたことを意識させ、感謝についての価値理解を深めることができるようにする。 ・本間泰蔵が直面した困難について共感させる。 ・今の自分があることに感謝し、それに応えようとした泰蔵の思いや行動に対する考えの交流を通して、人間理解、他者理解を深めることができるようにする。	【工夫②】 ・広い視野で尊敬や感謝の念をもつことについて考え、思いを深めさせるために、呉服屋の主人に共感させる。 【工夫③】 ・多様な考え方に触れ、自己の考えを深めさせるために、交流を活性化させる補助発問や問い返しを行うとともに、よいと思った他の人の考えを記述させる。
	● 自己を見つめる。 ○ これまでの自分の生活を振り返り、互いに支え合ったり、助け合ったりするためにはどのようなことが大切ですか。 ・やってもらって当たり前だと思っていた。自分もできることで周りの人を助けていきたい。 ・感謝はしていたけど、深く考えていなかった。相手に対して自分のできることを考えていきたい。 ・相手に対して思いやりの心をもって接し、自分のできることをしたい。	・自分の経験を振り返るなどして、これからの自分にできることを考え、自己理解を深めることができるようにする。 ■ 自分の生活を支えてくれている人に感謝の気持ちを持ち、それに応えようとする思いについて、自分との関わりの中で考えを深めることができたか。	【工夫④】 ・自分の経験を振り返るなどして、これからの自分にできることを考え、自己理解を深めさせるために、これからの自分の生き方について、ワークシートにまとめさせる。
終 末	● 教師の説話を聞く。 ※学級の児童が、低学年の児童を支えていることについて話をする。 ● 本時の学習を振り返る。 ※本時の学習状況について児童に自己評価させる。	・低学年の児童の思いを伝えることを通して、児童のよさを価値付けし、実践意欲を高める。	【工夫⑤】 ・自分自身では気付かなかった自分のよさに気付かせ、発展させるために、教師の説話の内容を工夫する。

6 板書

九月十八日(火)
第十四回

助け合い
支え合い

自分

お母さん
お父さん
お兄さん
お姉さん
先生
兄弟姉妹

店主
店を建て
直して
主人
感謝
本間泰蔵
増毛の人々
酒をふるまつ
大型船を購入
(十二号船)

増毛の人々のおかげで、ついでに、どう思いますか。
自分も見習いたい。
自分だったからミリエル教?

このままの自分の支え合い、助け合いは？
何も考えていなかったけど、感謝はしていたけど...

感謝 ←

7 ノート・ワークシート

第14回道徳

○ 教材を読んで考えたこと

呉服店で働いたり、お酒をつくれたり、なんでも一生懸命やっていた、すごいなと思いました。

増毛の人につくすのが、いい。自分より人のことを思っていて優しい。
大型船を買い、人のためにかっこいい。
お金もかかるのに、十二艘を買ってすごい。

○ これからの自分について考えたこと

自分も支えられてばかりではなく、支えたり助けられるようになりたいと思いました。

いつも、自分が気づいていないところを助けてくれたり支えてくれたりしているから、私も、もっとなにかしてあげたいと思いました。

○ 今日の授業で

① しっかり考えた。
② 感想を添えて書く。
③ 二枚の紙に分けて書く。

自分だけのことでなくて、まわりの方のことも考えてた方がいいと思った。

【授業実践を振り返って】

人々に支えられ助けられて自分が存在することに気づき、相手に対して尊敬と感謝の念をもち、それに応えて何ができるのかということをも自分との関わりで多面的・多角的に考えることができるよう、中心的な発問を吟味し、「増毛の人々のためにつくす泰蔵についてどう思いますか。」と問いかけました。

児童からは、

- ・自分を支えてくれた増毛の発展に尽くしたい。(郷土愛)
- ・みんなのために役に立ちたい。働きたい。(公共の精神)
- ・呉服屋の主人のように人のために何かしたい。そのために一生懸命努力する。(強い意志)
- ・増毛は交通が不便で町の人たちが困っているから助けてあげたい。(思いやり)

などの発言が見られ、「郷土愛」「公共の精神」「強い意志」「思いやり」等の道徳的価値と関連させながら、自分との関わりで多角的・多面的に考え、「感謝」について考えを深めることができました。